

備前市 事務事業評価表

事務事業名	選挙執行	コード	06-01-19-02
		担当課・係	選挙管理委員会事務局
		担当者	野道徹也
事業実施期間	昭和22年～	電話	0869-64-1838
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり	
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行政運営	
	小項目(施策)	その他事務管理(選挙)	

事業について	
目的 (何のために)	各種選挙を公正にかつ適正に執行する。
対象 (誰・何を対象に)	備前市内の有権者 34,014人(平成18年12月登録)
内容	有権者が投票する環境を整えるために、投票所・期日前投票所・ポスター掲示場等を適正に設置し、開票結果を有権者により早く伝えるために、即日開票を行い、迅速な開票に努める。

事業の結果													
実施項目	17年度				18年度								
	回数など (単位)				回数など (単位)				回数など (単位)				
選挙の種類	市長選	衆院選	農委選	海区補選	市議選	県議選(期日前1日)	海区補選						
投票者総数	25,757	23,928	無投票	無投票	人	26,959	-	無投票	人				
期日前・不在者投票者数	4,346	4,084	-	-	人	5,458	111	-	人				
開票時間	1時間40分	2時間10分	-	-		3時間25分	-	-					
選挙事務従事者数	207	250	-	-	人	210	-	-	人				
事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源		
	直接事業費	42,068	国庫補助金等	24,416	直接事業費	41,386	国庫補助金等	4,155	直接事業費		国庫補助金等		
	人件費	10,305	受益者負担		人件費	14,293	受益者負担		人件費		受益者負担		
	合計	52,373	市債	27,957	合計	55,679	市債	51,524	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	2.14 人				1.80 人			
結果指標名	投票者数				投票者数			
結果指標量	25,757	23,928	無投票	無投票	26,959	期日前1日のみ	無投票	
単位	人	人	-	-	人	人	-	-
対前年比	-	-	-	-	104.67%	-	-	0.00%
活動にかかるコスト	20,541	30,863	584	385 千円	45,929	9,411	339 千円	
単位当たりコスト	797	1,290	-	- 円	1,704	-	- 円	
結果指標名	選挙事務従事者数				選挙事務従事者数			
結果指標量	207	250	無投票	無投票	210	期日前1日のみ	無投票	
単位	人	人	-	-	人	人	-	-
対前年比	-	-	-	-	101.45%	-	-	0.00%
活動にかかるコスト	20,541	30,863	584	385 千円	45,929	9,411	339 千円	
単位当たりコスト	99,232	123,452	-	- 円	218,710	-	- 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	選挙の適正な執行と迅速な開票による効率化、また、選挙の周知による投票率の向上。		
成果指標名	投票率	式又は説明	投票者数 / 当日有権者数
	17年度		18年度
成果指標量	73.65%	69.72%	無投票 無投票
対前年比	-	-	-
到達目標値	国政70%, 県政70%, 市政80%	到達目標年度	各種選挙執行年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等： 公職選挙法	妥当性評価<A~E> C 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	法定事務である。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	市議選の開票作業については、効率が悪かったのか時間がかかった。問題点を洗い出し、今後の選挙の効率化に活かす。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	市議選は市民の関心度が高く、高い投票率となった。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 本年度執行の各種選挙事務を行っている。
-----------	---	---	---------------------------

目標値	結果指標量	結果指標量
結果指標量	結果指標量	結果指標量

総合評価	選挙により投票率は異なるが、全般に減少傾向にある。啓発活動の方法等を考え、投票率の向上を図る。	評価区分 <A~E> C
------	---	-----------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	選挙時において、新しい啓発方法を考え、実施を検討する。	各選挙執行時	投票率の向上が期待できる。